別記様式第２号

　　年　　月　　日

実績報告

宮城県知事　　　　　　　　殿

住　所

氏　名

法人にあっては、名称及び代表者の氏名

　　年 月 日付け認定番号第　　　号で認定を受けた合理化計画に係る第　年度（計画期間　　　年　 月　 日～　月　 日）の事業実績につき、下記のとおり報告します。

素材生産等促進資金関係

※上記以外の資金については、林業経営基盤の強化等の促進のための資金の融通等に関する暫定措置法の運用について（昭和58年8月23日54林野企第83号林野庁長官通知）において定められた様式を用いること。

|  |  |
| --- | --- |
| 資金名 | 事業経営改善合理化資金関係（素材生産等促進資金） |
| 項目 | 事業量 | 事業費 | 木材産業等高度化推進資金認定額 |
| 地域材 | 地域材以外の材 | 計 |
| 合理化計画における計画 | 素材生産 | ㎥ | ‐㎥‐ | ㎥ | 千円 | 千円 |
| 間伐等素材生産 |  | ‐ |  |  |  |
| 素材引取 | （　　） | （　　） | （　　） |  |  |
| 間伐材等素材引取 | （　　） | （　　） | （　　） |  |  |
| 製品引取 | （　　） | （　　） | （　　） |  |  |
| 間伐材等製品引取 | （　　） | （　　） | （　　） |  |  |
| 計Ａ | （　　） | （　　） | （　　） |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 事業量 | 事業費 | 木材産業等高度化推進資金借入額 |
| 地域材 | 地域材以外の材 | 計 |
| 本年度の合理化計画に対する実績 | 素材生産 | ㎥ | ‐㎥‐ | ㎥ | 千円 | 千円 |
| 間伐等素材生産 |  | ‐ |  |  |  |
| 素材引取 | （　　） | （　　） | （　　） |  |  |
| 間伐材等素材引取 | （　　） | （　　） | （　　） |  |  |
| 製品引取 | （　　） | （　　） | （　　） |  |  |
| 間伐材等製品引取 | （　　） | （　　） | （　　） |  |  |
| 計Ｂ | （　　） | （　　） | （　　） |  |  |
| 計画対実績の割合 Ｂ／Ａ | （　　）％ | （　　）％ | （　　）％ | ％ | ％ |

（注）１　合理化計画における計画の欄について

（１）事業量については、

①　合理化計画書の事業計画から該当数値の素材換算したものを記入する。

　②　素材引取の（　）は、JAS認証業者等のJAS製品生産量を合理化計画書の事業計画から該当数値を転記する。

　③　単独融資に係るものである場合、素材引取、製品引取の（　）は、需要開発に係る認定者にあっては、その生産計画量を、製材の日本農林規格（構造用製材に係るものに限る）に係る認定者にあっては、JAS製品生産計画量を合理化計画書の事業計画から該当数値を転記する。

　④　間伐材等製品生産については間伐材等の素材及び製品の加工に要した経費を記入する。

（２）事業費については、合理化計画書の資金計画の計画事業量と単位当たりの事業費を乗じて該当資金ごとに算出したものを記入する。

（３）木材産業等高度化推進資金認定額は、合理化計画書の資金調達額の木材産業等高度化推進資金額を転記する。

２　本年度の合理化計画に対する実績の欄について

（１）事業量については、

　①　合理化計画に掲げた事業の実績の素材換算数値を記入する。

　②　素材引取及び間伐材等の（　）は、JAS認証業者等のJAS製品生産量を記入する。

　③　単独融資に係るものである場合、素材引取、製品引取の（　）は、需要開発に係る認定者にあっては、その生産量を、製材の日本農林規格（構造用製材に係るものに限る）に係る認定者にあっては、JAS製品生産量を記入する。

（２）事業費については、

　①　素材生産については、立木購入代金、素材生産を行うための作業道の開設又は改良に必要な費用、作業現場から最終土場までの素材生産実施費用としての集運材のための機械・施設の使用料又は作業労賃の総額を記入する。

　②　素材引取、素材転換及び製品引取については、地域材に係る素材又は製材品の引取金額を記入する。

　③　間伐等素材生産については、間伐等に係る立木購入代金、素材生産を行うための作業道の開設又は改良に必要な費用、作業現場から最終土場までの素材生産実施費用としての集運材のための機械・施設の使用料又は作業労賃の総額を記入する。

　④　間伐材等素材引取、間伐材等製品引取については、間伐材等の素材又は間伐材等に係る製材品の引取金額を記入する。

（３）借入額については、ピーク時の借入額を記入する。

３　計画対実績の割合は、百分率（小数点以下１位を四捨五入し単位止めとする。）で表す。